IT時事ネタキーワード「これが気になる！」（第67回）

iPhone12が導く5G普及

2020.11.19



日本時間の2020年10月14日のアップルのオンラインイベントで、待望のiPhone12が12/12 Pro/12 mini/12 Pro Maxの4つのラインアップで発表された。続いて12/12 Proは10月16日に、12 miniと12 Pro Maxは11月6日に発売された。

iPhone12シリーズは外観のほか、ハードウエアももちろんバージョンアップされた。一番の違いは、iPhoneとして初めて5G（第5世代移動通信システム）に対応したことだ。先日のイベントでは、バックに大きい「5G」の文字と共に、熱く語るティム・クックCEOの姿が印象的だった。

ちなみに、これまで5G対応の携帯端末は、XperiaやGalaxy、Google PixelシリーズなどAndroid端末に限られていた。世界でのiPhoneのシェア率は3割を切るものの、iPhoneシェア率の高い日本は6割強。新型が出たら買い替える愛好家も多い日本では、iPhone12の発売が5Gの普及につながりそうだ。

もちろん5Gを使うには、対応端末のほか5G対応の基地局と5Gが使えるプラン契約も必要だ。今のところエリアは限られているが徐々に拡大しつつあり、将来的な利用を考えると端末が手元にあるに越したことはないといえる。

総務省の「令和2年版情報通信白書」では5Gについて特集が組まれ、多くのページが割かれている。5Gの基礎知識、今までの流れ、今後の動向はこの白書で見えてくる。

最近のICTの状況は、インバウンドの増加や東京オリンピックに向けて、キャッシュレス・多言語翻訳・顔認証などの新たな技術の導入、変革の機会が訪れていた。コロナ禍以降は、テレワークの導入やオンライン教育の実施、オンライン診療の規制緩和など、さまざまなジャンルにデジタル化の波が押し寄せた。仕事も生活もコロナ前と全く異なる状況を実感している人も多いだろう。

5G普及で何が変わる？テレワークやビジネススタイル＆ビジネスチャンス… 続きを読む